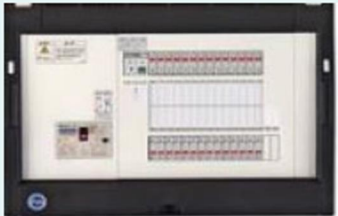


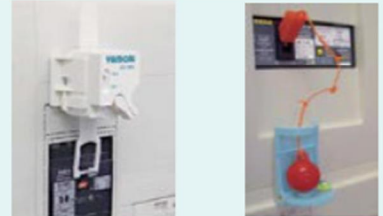


○感震ブレーカーに関する改正事項

住宅における新たな火災予防対策機器として、大規模地震発生時の電気火災対策に有効な機器である感震ブレーカーを追加する。

(参考) 感震ブレーカー等のタイプ別の特徴

※下記は一般的な特徴・注意点ですので、機器により異なる場合があります。

|      | 分電盤タイプ<br>(内蔵型)   | 分電盤タイプ<br>(後付型)  | コンセントタイプ  | 簡易タイプ   |
|------|---|--|---|---|
|      |    |   |    |  |
| 機器概要 | 分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。   | 分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。   | コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。  | ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。   |
| 価格   | 約5万円～8万円<br>(標準的なもの)  | 約2万円   | 約5,000円～2万円   | 3,000円～4,000円程度   |
| 特徴   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●感震性能が高く、専門工事業者による設置のため、作動の信頼性が高い。</li> <li>●感震後、通電の遮断までに一定の待機時間（3分程度）が設定されており、その間は照明が確保される。<br/>※待機時間は変更可能。</li> <li>●待機時間後には、建物全体にわたり通電が遮断されることから、在宅用医療機器等を設置している場合、停電に対処できるようバッテリー等を備えることが必要。</li> <li>●電気工事が必要。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●設置方法による作動の信頼性のばらつきが小さい。</li> <li>●作動時においても未設置のコンセントへの通電は確保されることから、通電の遮断に伴う避難等の支障は小さい。<br/>※コンセント以外の配線、コンセントまでの屋内配線及び未設置のコンセントで発生する火災は予防できない。</li> <li>●電気工事が不要なタイプ（コンセント差込型）と必要なタイプ（コンセント埋込型）の両者がある。</li> <li>●電気製品の種別、レイアウトの変更等に応じた効果的な設置、継続的な対応が必要。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ユーザー自ら取付けるため、設置方法に伴う作動の信頼性にばらつきが生じるおそれがある。</li> <li>●作動すると通電が一斉に遮断されることから、別途、避難用の照明等の確保が必要。</li> <li>●在宅用医療機器を設置している場合、停電に対処できるようバッテリー等を備えることが必要。</li> <li>●電気工事不要。</li> <li>●既設分電盤の形状によっては、取付け困難な場合がある。</li> </ul> |   |